

実習プログラム内容、プログラムの特徴

1. 実習期間

- ・ 1日 4時間

2. 内容

- ・ 介護職が働く現場や仕事を体験し、介護職の仕事をイメージできるようになることで、この初任者研修の学習内容を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促す。

3. プログラムの特徴

- ・ 特定施設生入居者活介護（特定型有料老人ホーム）の施設長を長年務め、社会福祉士と介護支援専門員の資格を持つ講師が実習を担当する。
- ・ 人の生活を支える「居宅、または、施設におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを実感させ、以降の研修に実践的に取り組めるようにさせる。

4. プログラムのねらい

- 居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容の習得
- 居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的イメージ化（視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等）
- ケアプランの位置付け（サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携等）